

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの改題(授業で扱った問題)	
② 宿題用テキストの基本問題	
③ 週テスト復習用を解く。	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの改題(授業で扱っていない問題)	

発展メニュー (☆) …他の教科の宿題が終わって、さらに余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの入試問題に挑戦！！	

担当より一言

今回は、中和実験その2について学習しました。

今回は、前回学習をした中和反応の計算についての学習が中心でした。

第31回の溶解度の計算同様、今回の中和反応の計算についてもポイントとなるのは塩酸と水酸化ナトリウム水溶液が完全中和する(中性になる)ときの体積で基準を作ることです。

基準を作った上で、その何倍なのかを考えていくという解き方はこれまでと何も変わりません。

また、中和反応の計算では塩酸と水酸化ナトリウム水溶液で基準の何倍かが違い、どちらが余るのかを考える問題も出てきます。倍率が大きい方が余る、倍率が少ない方にあわせて反応をすることを押さえておきましょう。

そして、中和反応後に水を蒸発させて残った固体の重さを求める問題では、塩酸が余っているときは余った塩酸からは固体が出てこないの食塩しか残らない、水酸化ナトリウム水溶液が余っているときは余った水酸化ナトリウム水溶液から水酸化ナトリウムが出てくるので食塩と水酸化ナトリウムが残るということをグラフとあわせて理解するようにしましょう。

宿題については第31回同様、まずは授業で扱った問題の改題に取り組み、その後基本問題、余裕があれば入試問題に挑戦！！と進んでください。

※G模試の範囲は第24回～第33回内容です。